

基準 1 使命・目的等

Ⅲ. 評価機構が定める基準に基づく自己評価

基準 1. 使命・目的等

1-1 使命・目的及び教育目的の明確性

《1-1 の視点》

1-1-① 意味・内容の具体性と明確性

1-1-② 簡潔な文章化

(1) 1-1 の自己判定

基準項目 1-1 を満たしている。

(2) 1-1 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

1-1-① 意味・内容の具体性と明確性

本学は「神を敬し、人を愛する」という建学の精神に基づき、「広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道德観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成すること」を目的とし、「八戸学院大学学則（以下、学則）」第 1 条に明記している。なお、本学の教育目的は、表 1-1-1 のとおりである。

◇エビデンス 資料編【資料 1-1-1】

表 1-1-1 教育目的

大学	八戸学院大学は、カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道德観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成することを目的とする。
ビジネス学部 ビジネス学科	ビジネス学部ビジネス学科は、経営・会計・情報・商業等についての学びをふまえ、地域課題を分析し解決できる能力を備えたビジネスマインド、チャレンジシップを有し、地域発展に資する人材を育成する。
健康医療学部 人間健康学科	健康医療学部人間健康学科は、こころとからだの健康についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、現代社会における健康に関するニーズに対応できる人材を育成する。
健康医療学部 看護学科	健康医療学部看護学科は、豊かな感性と人間性を備え、日々進歩する看護の知識や技術に対応できる能力や地域の保健医療活動、健康増進に看護の実践者として貢献できる資質の高い人材の育成を目的とする。

1-1-② 簡潔な文章化

上記表 1-1-1 のとおり、高校生や一般市民の方々が理解できるような簡潔な文章で表記されている。

(3) 1-1 の改善・向上方策（将来計画）

2 学部 3 学科への改組・改編に伴い学部・学科の使命・目的および教育目的の見直しを常に行い、必要な場合は速やかに変更を行う。その際、文章は簡潔化し、高校生や一般市民の方々が理解できるよう表記する。

1-2 使命・目的及び教育目的の適切性

《1-2の視点》

1-2-① 個性・特色の明示

1-2-② 法令への適合

1-2-③ 変化への対応

(1) 1-2の自己判定

基準項目 1-2 を満たしている。

(2) 1-2の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

1-2-① 個性・特色の明示

本学の使命・目的および教育目的に基づいた特色は、次のとおりであり、その詳細については、全学生に毎年配付している学生生活ハンドブック（学生便覧）や本学のホームページに掲載して明示している。◇エビデンス 資料編【資料 1-2-1, 資料 1-2-2】

- ① 「建学の精神」に基づく、広く豊かな教養と高い知性を身に付けた人材の育成については、人間性を涵養するために、リベラルアーツ「導入教育」の宗教関連科目を必修とし、さらに、幅広く深い教養を身に付けるために、リベラルアーツを「外国語を学ぶ領域」、「人としての在り方を学ぶ領域」、「社会の在り方を学ぶ領域」、「自然と科学を学ぶ領域」という4つの領域に分類し、学生が各領域から多様な科目をバランスよく受講できるようにしている。また、平成 27(2015)年度より学生のキャリア形成を支援するため、「キャリアデザインⅠ～Ⅷ」を導入した。
- ② 現代社会の多様なニーズに対応できる専門性と実践力を身に付けた人材を育成するため、職業イメージや資格・免許の取得を念頭においたコース・プログラム制を導入し、学生の主体的な学修を促し、専門知識と技術が体系的に修得できるように、順次性を明確にした科目配置をしている。ビジネス学部ビジネス学科では地域発展に資する人材の育成を目指し、「経営コース」と「公共コース」をおき、健康医療学部人間健康学科では現代社会の健康ニーズに対応できる人材の育成を目指して、「スポーツ科学コース」と「健康科学コース」をおいている。健康医療学部看護学科では、看護師および保健師を養成するための科目を配置している。
- ③ 地域社会の経済・文化の発展に寄与する人材を育成するため、地域資源をキャンパスとして地域に根ざしたフィールドワーク活動による社会貢献を行っている。三陸復興国立公園内の種差海岸におけるフィールドワーク活動は学生の感性とアイデアを活かすキャンパスとなっており、この活動を通して、学生に地域活性化のビジョンと方策について考える機会を提供している。また、地域に根ざした教育活動や社会貢献として、地域住民を対象とした公開講座と健康調査を行っている。地域住民に対して健康に関する学習機会を提供し、健康意識の向上を目的として行っている公開講座は、学生の研究発表も行っており、学生にとって地域への発信のよい機会となっている。さらに、学生が中心となって行っている地域住民に対する健康調査は、地域住民の健康増進、特に健康寿命の延伸に寄与することが期待されている。

1-2-② 法令への適合

大学設置基準第2条に基づき、学校教育法第83条（目的）を踏まえ、八戸学院大学学則第1条第1項を「八戸学院大学は、カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探究せしめ、正しい道德観と高い知性を有する民主的にして平和を愛好する人材を育成することを目的とする」としている。学部、学科名称は大学設置基準第40条の4（大学等の名称）を遵守し、大学にふさわしいものであると同時に教育課程表に沿ったものである。各学科の教育目的はそれを踏まえており、法令に適合している。

1-2-③ 変化への対応

本学の教育理念、教育目的、教育目標、三つのポリシー（方針）は、教育センター長の下で教務委員会が毎年点検し、改正の必要がある場合は、八戸学院大学・八戸学院短期大学運営会議（以下、運営会議）に上程している。なお、学部の教育理念、教育目的、教育目標、三つのポリシー（方針）については、平成25(2013)年1月の運営会議で審議し、平成25(2013)年4月1日に変更した。さらに、健康医療学部看護学科の増設に伴い、平成28(2016)年2月の運営会議において同学部の教育理念、教育目的、教育目標を一部変更した。

また、平成26(2014)年1月の教授会で、文部科学省通達「大学入学者選抜実施要項」の第2「入学者受け入れ方針」と第3「入試方法」に関する事項が厳守されていないことから、アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）に、新たに求める高等学校での学習に関する項目の追加を上程し、改定している。さらに、平成27(2015)年2月には、平成25(2013)年度から学年進行で実施されている「高等学校学習指導要領」に基づき、ビジネス学部のアドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）を一部変更した。

◇エビデンス 資料編【資料1-2-3】

健康医療学部看護学科の増設に伴い、大学全体の三つのポリシーを見直した結果、平成28(2016)年3月の運営会議においてカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を一部変更した。

(3) 1-2の改善・向上方策（将来計画）

2学部3学科に伴い、大学、学部・学科の教育理念、教育目的、教育目標および三つのポリシー（方針）については、本学の使命・目的に基づき、法令適合性および個性・特色の明示という条件を確保しつつ、速やかに見直しを行う。

1-3 使命・目的及び教育目的の有効性

◀1-3の視点▶

1-3-① 役員、教職員の理解と支持

1-3-② 学内外への周知

1-3-③ 中長期的な計画及び3つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映

1-3-④ 使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合性

(1) 1-3の自己判定

基準項目1-3を満たしている。

(2) 1-3 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

1-3-① 役員、教職員の理解と支持

大学の使命・目的および教育目的の実現に関わる重要事項については、運営会議において審議のうえ学長が決定する。学長、学部長、学科長、学長補佐、各センター長、大学評価統括本部長、図書館長、地域連携研究センター長および事務局学務部長が運営会議の構成員となることによって、運営会議で決定された事項に対する学内教職員の理解と支持が遅滞することなく得られている。また、教育目的の変更は学則改正を伴うため、運営会議の審議を経て理事会に上程される。このプロセスにおいて、役員、教職員の理解が得られている。

1-3-② 学内外への周知

学校教育法第 85 条（学部）、学校教育法施行規則第 172 条の 2（教育研究活動等の情報の公表）、大学設置基準第 2 条（教育研究上の目的）に基づき、本学公式ホームページの「教育情報の公表」に教育理念、教育目的、三つのポリシー（方針）を掲載している。また、学内において毎年「学生生活ハンドブック（学生便覧）」に掲載し、学生および教職員に配付し周知している。受験生や保護者および社会一般の方々に対してはホームページのほか、「大学案内」および「入学者選抜試験要項」等に掲載し、周知を図っている。その他、大学オープンキャンパスや高校説明会では、具体的かつ簡潔な文章で周知している。

◇エビデンス 資料編【資料 1-3-1～1-3-3】

1-3-③ 中長期的な計画及び 3 つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映

大学の使命・目的および教育目的に基づき、学部ごとの教育目的・教育目標の見直しを行い、三つのポリシー（方針）を明確化し、学生の受け入れから学位の認定までのプロセスを適正に構築した。さらにアドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）に新たに求める高等学校での学習に関する項目を追加した。

平成25(2013)年度に設置された学長を責任者とする教育企画室では、短期大学看護学科の大学化を見据えた大学の組織構成の再編案が検討され、理事長に答申した。

平成27(2015)年度には、常任理事会直轄の総合企画室が設置され、中期改善計画の各視点 (1) 建学の精神、教育理念・目的、(2) 教育研究の方針、(3) 地域との共生、(4) 運営と管理、(5) 関連・補足事項についての検証を行い、平成28(2016)年度～平成32(2020)年度（5カ年計画）を常任理事会に提出し、使命を終えた。

平成28(2016)年度からは法人全体の新たな立体的総合学院構想の策定を目指して、新たに学長を議長とする「新学院構想戦略会議」が設置された。この会議により「新立体的総合学院構想」に基づく法人全体の具体的な改革方針として、①現状の課題と近い将来への危機感の共有、②新立体的学院構想に基づく改革の方向性の共有、③限られた経営資源（人、モノ、資金、情報）と限られた時間からの選択と集中の方針の共有の3点が示された。またこの会議の検討事項として次の7項目が掲げられた。

- 1) PPM（ポートフォリオ マネジメント）分析からの選択と集中
- 2) 経営資源の戦略的再編
- 3) 私学らしさの再構築

- 4) 文化・スポーツ・社会貢献の強化
- 5) 高校・大学連携強化
- 6) 系列高校との高大接続強化
- 7) Corporate Identity(CI)の徹底・浸透

表1-3-1 八戸学院大学三つのポリシー（方針）

平成28年4月1日現在

区分	ディプロマポリシー （学位授与の方針）	カリキュラムポリシー （教育課程編成・実施の方針）	アドミッションポリシー （入学者受け入れの方針）
大学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広く深い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。 2. 現代社会が求めるニーズを的確にとらえ、それぞれの専門的分野において自己の社会的役割を認識し、地域社会の発展に寄与することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神にのっとり、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するために、宗教関連科目、リテラシー教育科目、外国語科目等を必修とし、その他、多様なリベラルアーツ科目を選択科目として配置する。 2. 職業イメージや資格・免許の取得を念頭におき、学生の主体的な学修を促すためにコース・プログラム制等を導入し、専門知識と技術が体系的に修得できるようにする。 3. 地域社会の多様なニーズに応え、専門性を身につけ、考える力や表現力を備えた有為な人材を育成するため、学部・学科必修科目、コース・プログラム関連科目、学部・学科選択科目を配置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神を理解する人 2. 積極的な勉学意欲を持ち、学問や学生生活などで自分なりに「テーマ」や「将来の夢」に向かって取り組む意欲のある人。 3. 地域社会が抱える諸問題を、意欲的に研究し、他者と協力しながら、粘り強くその解決策を導くことに関心・意欲のある人。 4. 高等学校における「国語総合」または「現代文」、「数学Ⅰ」および「数学A」、「オーラルコミュニケーションⅠ・Ⅱ」または「英語Ⅰ・Ⅱ」の学習を通じて、大学での学修に必要な読解力、表現力、思考力、コミュニケーション力を身につけている人。
ビジネス学部、ビジネス学科	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営・会計・情報・商業等ビジネスに関する学問の基礎を理解している。 2. 地域課題を発見し、分析・解決できる公益性・実践力・専門性・採算性の能力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域発展に資する人材の育成を目指し、「経営コース」と「公共コース」の2つのコースをおく。 2. 職業イメージを念頭におき、「経営コース」には「起業家・ビジネスプログラム」「IT・Web クリエイティブプログラム」「農業経営プログラム」、「公共コース」には「公共経営プログラム」「教育職プログラム(商業・情報)」をおく。 3. 学部必修科目群には、経営・会計・情報・商業等ビジネスに関する学問の基礎を理解するための科目、コース・プログラム関連科目群には、職業イメージと結びついた科目、学部選択科目群には、実践力強化のための科目を配置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来、ビジネス社会のリーダーを目指している人。あるいは経営や新規事業展開に携わりたいと考えている人。 2. 地域振興、まちづくりプラン等に関心を持ち、公務員、NPO 職員として積極的に地域にかかわる職業を志す人。 3. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「世界史A」または「世界史B」、「現代社会」または「倫理」、「政治経済」、「社会と情報、情報の科学から1科目」を学習し、十分な基礎学力を身につけている人。

<p>健康医療学部人間健康学科</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ころとからだの健康に関する学問の基礎を理解している。 2. 医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野において、現代社会が求める健康ニーズに対応できる能力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の健康ニーズに対応できる能力の育成を目指し、「スポーツ科学コース」と「健康科学コース」の2つのコースをおく。 2. 資格・免許の取得を意識し、「スポーツ科学コース」には「教育職プログラム(保健体育)」「トレーニング指導者プログラム」、「健康科学コース」には「教育職プログラム(養護・保健・看護)」「認定心理士プログラム」「社会福祉士プログラム」をおく。 3. 学科必修科目群には、医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野の基礎を理解するための科目、コース・プログラム関連科目群には、資格・免許の取得に結びつく科目、学科選択科目群には、実践力強化のための科目を配置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育職(保健体育)(養護・保健・看護)」、「トレーニング指導者」、「スポーツリーダー」、「認定心理士」、「社会福祉士」の資格取得を目指している人。 2. 現代人の健康ニーズに先駆的に取組んでいこうという強い意志をもっている人。 3. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語(英語)」の基礎科目のほかに、「科学と人間生活」、「生物基礎」、「生物」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている人。
<p>健康医療学部看護学科</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力と行動力を有し、科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアが実践できる。 2. 他の医療関係職種と連携・協働し、地域医療従事者の中で看護の役割を判断し行動することができる。 3. 僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に関する基礎的研究能力を身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の教育内容をふまえた教育課程の編成とする。 2. 看護専門職になるために共通して必要な基礎的知識や実践能力を養うため、「専門導入科目」及び「専門基礎科目」をおき、「人間と健康」「環境と健康」の2領域を設ける。 3. 看護師・保健師としてのものの見方や考え方、基本的な看護技術、看護理論、多様な場での看護実践と研究方法を身につけるため、「看護の基本」「看護の展開」「看護の統合」「看護の研究」「公衆衛生看護学」の5領域からなる「専門科目」をおく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師・保健師になる強い意志をもち、積極的に学習する人。 2. 人間を理解し、共感する知性と感性を有する人。 3. 援助的人間関係を築くための努力をする人。 4. 高等学校における「国語」、「外国語(英語)」の基礎科目のほかに、「生物基礎」「数学Ⅰ」「数学A」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている人。

1-3-④ 使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合性

本学の教育研究組織は、ビジネス学部ビジネス学科および健康医療学部人間健康学科・看護学科の2学部3学科と、附置機関である八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館、八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター（以下、地域連携研究センター）により構成されている。両学部とも学部の特性を活かした教育理念・教育目的に基づき、それぞれの専門的分野において自己の社会的役割を認識し、地域社会の発展に寄与することができる人材の育成や、地域経済・地方文化に密着した教育、地域をキャンパスとした教育活動を行っている。地域連携研究センターは「八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター規程」第2条に基づき、実践的な教育としてのフィールド活動の中核となっている。◇エビデンス 資料編【資料1-3-4】

(3) 1-3の改善・向上方策（将来計画）

新たに設置した「新学院構想戦略会議」は、中期経営計画の達成度の検証を行うとともに新たな経営計画の立案と実施に向けた取り組みを行う。

◇エビデンス 資料編【資料1-3-5】

[基準1の自己評価]

本学は「建学の精神」および「教育理念」に基づき、「カトリック精神に基づき、広く豊かな教養を授け、深い専門の学術を探求せしめ、正しい道徳観と高い知性を有する民主的にして平和を愛する人材を育成すること」を目的と定めている。本学の教育目的は学校教育法および大学設置基準に基づき、簡潔かつ具体的に八戸学院大学学則に定められている。学内外への周知は本学公式ホームページや各種印刷物に明示されている。教職員に関しては教授会等の会議体によって周知徹底し、学生に関してはオリエンテーション等で理解促進を図っている。また、企業や行政との連携協定など、本学が広く注目される機会を活用して地域社会に対して、より一層の周知を図っている。また、平成 25(2013)年度には文部科学省通知「大学入学者選抜実施要項」に基づき、アドミッションポリシーに高等学校での学修に関する項目を追加した。また、平成 27(2015)年 2 月には、平成 25(2013)年度から学年進行で実施されている「高等学校学習指導要領」に基づき、ビジネス学部のアドミッションポリシーを一部変更した。さらに、平成 28(2016)年 4 月には、健康医療学部看護学科の増設に伴い、大学全体のカリキュラムポリシーおよび健康医療学部の教育理念、教育目的、教育目標を一部変更した。

また「新学院構想戦略会議」は、検討事項として

- 1) PPM（ポートフォリオ マネジメント）分析からの選択と集中
- 2) 経営資源の戦略的再編
- 3) 私学らしさの再構築
- 4) 文化・スポーツ・社会貢献の強化
- 5) 高校・大学連携強化
- 6) 系列高校との高大接続強化
- 7) Corporate Identity(CI)の徹底・浸透

等を提示した。

また、平成 26(2014)年度に従前の組織を改編して設立された地域連携研究センターは、実践的な教育としてのフィールド活動の中核となっている。